

磐田市人口ビジョン改訂支援業務 仕様書

1 業務名

磐田市人口ビジョン改訂支援業務

2 業務目的

令和3年度に策定した「第2期磐田市人口ビジョン」（令和4年3月）は2065年（令和47年）までの中長期的な展望を示しているが、策定から5年が経過し、推計値の変動が生じている。

本業務では、「第2期磐田市人口ビジョン」の改訂に必要な調査や専門的視点・第三者視点で助言等を行い、「第3期磐田市人口ビジョン」の策定を行うことを目的とする。

3 業務期間

契約締結日から令和8年9月30日まで

ただし、4(2)については、令和8年6月30日を目途にデータにより納入すること。

4 業務内容

(1) 人口の現状分析

磐田市の人口動向について、各種統計データや国の地域経済分析システム等を活用し、現状把握及び課題を取りまとめる。

① 人口の構造分析

総人口、地区別人口、年齢3区分別人口、年齢区分別人口の構成と時系列の状況を整理・分析する。

② 自然増減に関する要因分析

出生死亡の推移、女性の年齢別出生数・出生率の推移等のデータの整理・分析を行い、少子化に影響を与える社会的・経済的な要因、比較すべき他自治体とのデータ比較等を踏まえ、統計からみた磐田市の現状と要因の分析を行う。

③ 社会増減に関する要因分析

転入・転出の推移、転入先・転出先の時系列及び年齢区分別の整理・分析を行い、雇用・経済状況、ライフイベント等の関連における視点を踏まえ、統計からみた磐田市の現状と要因の分析を行う。

(2) 将来人口の推計

現行の磐田市人口ビジョンの推計値と実績値の乖離等の分析・検証をした上で、最新の人口データに基づき、将来人口（市全体、性別、地区別、年齢別）を各年で推計する。

なお、推計にあたっては第2期磐田市人口ビジョンとの整合性を確保し、自然増減や社会増減などの仮定値を変えた独自の推計を行うものとする。

推計期間は2100年までとし、2050年以降は5年毎の推計でも可とする。

(3) 人口の変化が地域に与える影響の考察

人口推計結果等を踏まえ、人口の変化が将来の地域住民の生活や地域経済、地方行政に与える影響について分析・考察する。

(4) 「第3期磐田市人口ビジョン」の作成

上記及び「地方版総合戦略の策定等に向けた人口動向分析・将来人口推計の手引き」(令和6年6月版 内閣府地方創生推進室)を踏まえ、磐田市における人口変動要因やその改善のための課題を分析し、人口に関して目指すべき将来の方向案を提示した上で、磐田市の示す方針に基づき、磐田市が目指す人口水準、地域社会像等の将来展望を記載した「第3期磐田市人口ビジョン」を作成する。

※ 策定にあたり、重視する視点

ア 本市における人口減少の要因や経済状況と人口減少の関連性が分析されていること。

イ 本市の長所や短所、強みや弱みなどを踏まえた、進むべき将来の方向性が示されていること。

5 成果品

(1) 調査分析報告書（データー式）

(2) 第3期磐田市人口ビジョン（データー式）

※業務完了後も本市で編集することができる様式（ワード等）でのデータとすること。

(3) その他本業務で得られた成果（データー式）

※人口推計については、業務完了後も本市で計算することができる様式（エクセル等）のデータとすること。